

# 情報資源組織演習A

科目ナンバリング LIH-210  
図書 選択 1単位

酒井 由紀子

## 1. 授業の概要(ねらい)

「情報資源組織論」での学習内容をふまえ、『日本目録規則(NCR)』にもとづいた演習を通じ、記述目録の考え方に理解を深め、実践的なスキルを習得する

## 2. 授業の到達目標

NCR1987年版改訂3版(2006)を用いて、基本的な図書館資料の記述目録データを作成できるようになる

## 3. 成績評価の方法および基準

授業内演習課題と授業参加(30%):試験(70%)

\*ただし、欠席4回以内、すべての演習課題の期限内提出を試験の受験条件とします

## 4. 教科書・参考文献

教科書

小西和信, 田窪直規編. 川村敬一, 小林康隆, 時実象一, 鴫田拓哉, 松井純子, 渡邊隆弘. 情報資源組織演習. 改訂. 樹村房, 2017.(現代図書館情報学シリーズ 10).

参考文献

日本図書館協会目録委員会編. 日本目録規則. 1987年版改訂3版. 日本図書館協会, 2006.

## 5. 準備学修の内容

- ・「情報資源組織論」の復習
- ・パソコン操作、キーボード入力の練習
- ・開講後の演習課題の復習

## 6. その他履修上の注意事項

- ・「情報資源組織論」単位取得済みが履修条件
- ・適正人数(35名程度)を超えた場合は抽選で履修を許可する
- ・第1回は重要な説明を行うので必ず出席すること
- ・ほぼ毎回、パソコンを使った授業内演習が課される

## 7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション、「情報資源組織論」復習
- 【第2回】 日本目録規則(NCR)の概要
- 【第3回】 記述総則
- 【第4回】 各書誌事項の記録法(1)タイトルと責任表示
- 【第5回】 各書誌事項の記録法(2)版、資料の特性、出版・頒布
- 【第6回】 各書誌事項の記録法(3)形態
- 【第7回】 各書誌事項の記録法(4)シリーズ
- 【第8回】 各書誌事項の記録法(5)注記、ISBN、入手条件
- 【第9回】 標目の付与(1):総則、タイトル標目
- 【第10回】 標目の付与(2):著者標目
- 【第11回】 図書館以外の書誌事項の記述
- 【第12回】 書誌ユーティリティ
- 【第13回】 記述演習(1)
- 【第14回】 記述演習(2)
- 【第15回】 まとめと試験